

3月4日にチャレンジゼミナール成果報告会を開催しました



午前中の報告会は53チームが8会場に分かれて、それぞれの研究を15分間発表し、その後討論していました。その中で優秀な発表8組が選ばれました。午後の部は、午前選ばれた8チームが5分間プレゼンテーションを行い、平成26年度の学生会長（間庭早紀子さん）と副会長2人（大嶋真以さん、小川勝也くん）が審査しました。保護者の方や他高専など多くの方にも見学してもらい、とても良い報告会であったと感想をいただきました。以下が審査結果です。

学生会長賞

三角数から作られる偽ゼータ関数について、 中野日向(C-3)

学生副会長賞

エスペラントという提案ー公正なコミュニケーションのあり方についてー、 大塚友美子(E-3)

優等賞（6組）

東京裁判において免責となった天皇に対する、側近たちの反応、 實近香菜美(C-3)

応答に用いられる「別に」の研究、 平田航也(C-3)

魅せる化学の探究 ～シャボイズム・遊びと化学のはざままで～、

平悠希(E-3)、東和樹(M-3)、濱田倅生(M-3)、尾山悠(M-3)、十河大和(M-3)

魅せる化学の探究 ～早矢仕 P×化学・先行公開！～、

早矢仕貴之(S-3)、吉田雄大(M-3)、長瀬朋弥(M-3)、宮本大河(E-3)、元番智之(M-3)

高専生が自分を表現するための英語例文集の作成ー現在の例文集を問い直すー、

内藤祐樹(C-3)、川角歩(M-3)、岡田美穂(S-3)、長尾凌太(C-3)、御船沙織(C-3)

n 次元ファレイ空間の結晶理論、 小林祐志(E-3)、赤松昌俊(C-3)